



## 設定の変更

- [ルール処理設定の変更 \(1 ページ\)](#)
- [電話の保留とスクリーニングの設定の変更 \(2 ページ\)](#)

## ルール処理設定の変更

パーソナル着信転送ルールの処理は、有効にすることも、無効にすることもできます。また、Cisco Unity Connection が、アクティブなパーソナルルールを処理する前に、常に内線番号を呼び出すようにするかどうかを選択できます。

Connection が内線番号を最初は呼び出さないようにすると選択した場合、直接コールと間接コールの動作は異なります。

直接コール	内線番号を呼び出します。応答がない場合、着信コールは Connection に転送され、パーソナル着信転送ルールが適用されます。
間接コール	Connection を介して転送され、パーソナル着信転送ルールは内線番号を呼び出さずに適用されます。

直接コールは、別の Connection ユーザが内線番号をダイヤルしたり、外部の発信者が直通電話（ある場合）をダイヤルしたりするように、電話番号を直接ダイヤルする通話です。間接コールは、Connection システムからユーザに転送される電話（たとえば、ユーザに到達するためにディレクトリを使用する発信者からの電話）です。

**ステップ 1** パーソナル着信転送ルール Web ツールの [設定 (Preferences) ] メニューで、[ルール設定 (Rules Settings) ] を選択します。

**ステップ 2** 必要に応じて、次のチェックボックスのいずれかをオンにします。

オプション	説明
パーソナル着信転送ルールをすべて無効にする (Disable All Processing of Personal Call Transfer Rules)	オンの場合、すべてのパーソナル着信転送ルール設定は無効になっており、Connection は、着信コールを処理するときに、そのルールを考慮しません。着信コールは内線番号に転送されます。

オプション	説明
	(注) 既存のルール設定は、設定が無効にされても、削除されません。
常にパーソナル着信転送ルールを適用する前にプライマリ内線番号に連絡する (Always Ring Primary Extension Before Applying Personal Call Transfer Rules)	<p>オンの場合、着信コールが直接コールか間接コールかに関係なく、Connection は、まずプライマリ内線番号を呼び出してから、ルール設定をすべて適用します。</p> <p>ヒント 電話が Call Forward Answer に設定されている場合は、このチェックボックスをオンにして、発信者が直接ダイヤルしたときと Connection を通して番号をダイヤルしたときに、一貫した動作が行われるようにします。Connection が他の通知先の検出を試みる前に、常にプライマリ内線番号が呼び出されます。</p> <p>プライマリ内線番号がまったく呼び出されないようにする場合は、このチェックボックスをオフにして、Cisco Unity Connection に対する Call Forward Answer 設定を電話に設定します。</p>

ステップ3 保存を選択します。

#### 関連トピック

[ルールの変更](#)

## 電話の保留とスクリーニングの設定の変更

着信をプライマリ内線番号に転送するように転送ルールが設定されている場合、電話が通話中の場合に Cisco Unity Connection が着信を処理する方法を指定できます。

また、Connection 管理者がスクリーニング オプションを有効にしている場合、Cisco Unity Connection によって着信をスクリーニングすることを選択できます。Connection は、発信者の名前を尋ね、その名前を再生してから通話を接続することができます。また、着信の接続時に通知したり、電話に出るか、発信者がメッセージを残すことができるようにボイスメールに転送するかを選択できます。それぞれのパーソナル着信転送ルールでは、ルールの条件に一致する着信をスクリーニングするかどうかを設定できます。



ヒント 定義されているどのルールにも一致しない着信は、有効になっている任意の着信スクリーニングオプションを使用して、プライマリ内線番号に転送されます。そのような着信をスクリーニングしない場合は、すべての着信に一致するワイルドカード文字を使用してルールを作成し、ルール設定の最後のルールとして設定します。

**ステップ1** パーソナル着信転送ルール Web ツールの [設定 (Preferences) ] メニューで、[通話保留とスクリーニング (Call Holding and Screening) ] を選択します。

**ステップ2** 保留設定を変更するには、[内線が通話中の場合 (If My Extension Is Busy) ] リストで、内線が通話中の場合に Connection が着信を処理する方法を選択します。

オプション	説明
発信者をボイスメールへ送信	グリーティングが再生され、発信者にメッセージを残すように求めます。
発信者を保留にする	発信者が保留され、メッセージを残すかどうかは質問されません。
保留して良いかどうかを発信者に問い合わせる	保留するかメッセージを残すかを発信者が選択できるようにします。

**ステップ3** スクリーニング設定を変更するには、[着信をスクリーニングする (Screen Calls) ] セクションで、必要に応じて次の1つ以上のチェックボックスをオンにします。

オプション	説明
接続案内の後に接続する	着信コールの接続時に通知します。
誰にかかってきたかを知らせる('～さんへの電話です')	内線番号に関連付けられている名前を再生します。電話を共有している場合は、この設定を使用します。
電話に出るかどうかを選択できる	電話に出るか、発信者にメッセージを残してもらうかを選択できるようにします。
発信者に自分の名前を録音してもらう (Ask for Caller's Name)	発信者の名前を録音し、着信を接続する前に再生します。

次の点に注意してください。

- 電話を共有している誰かに対する着信を拒否する場合、[通話の宛先を通知する (Tell Me Who the Call Is For) ] チェックボックスと [電話を取るか確認する (Ask Me If I Want to Take the Call) ] チェックボックスの両方をオンにします。
- 発信者の身元に基づいて電話に出るか拒否するかを選択するには、[電話を取るか確認する (Ask Me If I Want to Take the Call) ] チェックボックスと [発信者に自分の名前を録音してもらう (Ask for Caller's Name) ] チェックボックスの両方をオンにします。

電話に出る場合、Connection によって着信が接続されます。拒否する場合、Connection によって着信がボイスメールに転送されます。

**ステップ4** 保存を選択します。

